

ISUZU REPORT

No. 002

編集・発行：五十鈴電業株式会社
管理部 広報担当
電話：059-331-9395
FAX：059-331-9369
HP：http://www.isuzu-gr.jp

ホーチミン市技術師範大學副学長来社 すすむHCMUTEとの連携強化

2016年4月8日弊社にホーチミン市技術師範大學（HCMUTE）の副学長、学生部長、渉外担当部長の3名が来社されました。弊社は、2008年以来約10年間HCMUTE（ホーチミン市技術師範大學）の卒業生を受け入れてまいりました。現在7名のエンジニアがFAシステム設計、メカトロ設計、製造分野で

活躍しています。彼らの活躍ぶりの見学と、同校の産学協力教育方針の検討のために来社されました。教授との懇談ではベトナムの産業構造に不可欠な中小企業郡の技術者の育成が重要であるとの認識を示されました。今後も同校との協力体制を大切に、人材育成、アセアン戦略、そして微力ながらベトナムの発展



日越友好の架け橋となれるようあらためて意を強く持ちました。

弊社は2016年4月現在で外国人の雇用が全社員の約15%を占めています。経営方針では、アセアン諸国を中心に事業のグローバル化を推進していますが、人材構成ではすでにグローバル企業であると自負しています。



鈴鹿メカトロ事業部

こんにちは！ 鈴鹿メカトロシステム事業部のベトナム人スタッフの紹介です。CONG君は'85年8月生まれ 31歳、'14年7月来日です。既婚者です。



んで行かなければなりません。山あり谷ありますが、お互いに理解し合う気持ちを持って接すれば何とかできるのではないかと思います。

私達も彼らと一緒に勉強していかなければならないと痛感する日々です。

PHU君は'91年8月生まれ 25歳、'15年2月来日です。独身です。CONG君の約6ヶ月後輩になります。



二人とも大変真面目ですが私達日本人とのコミュニケーションを取ることに非常に苦労しています。

彼らが学んだ日本語は標準語で中部/近畿地方の方言に戸惑っているようです。私達も極力わかりやすい日本語を使うように心掛けていますが、急いでいる時など方言が出てしまうことも多々あります。「関西弁入門」の本を彼らに渡して勉強してもらっています。仕事においてはようやくメカの入口に立ったばかりで、これから色々なことを学



鈴鹿のメカトロ製品

私達の製品は一品一様のオーダーメイド品です。お客様より引き合いを頂き、仕様打合せ、基本構想計画(提案)、見積積算、作成、提出する運びとなります。

価格はもちろんですが仕様面でお客様の仕様を満足していることが基本となります。お困りのことが御座いましたらお気軽に相談下さい。

最近の出荷状況としてはスカラロボットを活用したインサート成形品のハンドリングシステム1式と、6軸ロボット使用のハンドリング+圧入、検査システム1式を6月初旬に出荷納入しました。また、違うユーザー様にスカラロボット2台仕様のインサート成形品ハンドリングシステム1式を7月中旬に出荷いたします。

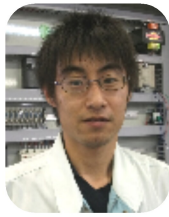
- 【メカトロシステム事業部の製品】
- FAメカトロ設備の設計製作
- 自動化設備・小ロット生産設備 設計製作
- アッセンブリ(専用装置)の設計製作
- 省人化装置の設計製作
- ハーネス製造用専用機製作
- 画像処理検査装置野設計製作
- 治工具、検査治具の設計製作

電装システム事業部

私達四日市電装システム事業部は、長期事業戦略に基づき、従来のシステム設計部門、製造部門の拡充のため計装設計事業、生産管理システム事業立ち上げの本格的な活動を開始致しました。計装設計事業に於いては、先ず計装士の資格取得に向け基礎活動を開始いたしました。

生産管理システム事業に於いては、システムエンジニア（SE）1名を採用し、更に深く更に高度なシステム構築が出来る体制作りを開始いたしました。今までも関連する仕事に携わってきましたが、もっともっと踏込んで技術を高め、より多くの経験を積み、皆さまのご期待にお応え出来る体制作りをしてまいります。そして皆さまからの信頼を得て、より深く皆さまとお付き合いをさせて頂ければと望んでおります。

今後とも四日市電装システム事業部を宜しくお願い致します！
新しい仲間が加わりました！！
よろしくお願いたします。



名前 鈴木 宏昭
出身地 三重県 津市
趣味 音楽鑑賞
目標 管理システムオリジナル



名前 ヴー ドゥッグ ユイ
出身地 ベトナム ホーチミン市
趣味 サッカー、音楽鑑賞
目標 日本語2級取得
PLC,PCのスペシャリスト



名前 グエン ヒュー ソン ディエン
出身地 ベトナム ドンナイ市
趣味 音楽鑑賞
目標 先ずは日本語2級取得
メカのスペシャリスト



【天の川の星伝説】

天の川と言えば、織姫、彦星の星伝説が有名ですね。幼いころ七夕飾りに五色の短冊に願い事を書いて願が叶うように祈願したり、吹き流し、千羽鶴、網飾りなどを笹竹につるして夏休みを楽しんでいました。

現代は7月7日を七夕の日となっていますが、古の昔は中国や日本では太陰太陽暦が使われており旧暦の7月7日は必ず上弦の月になっていました。月あかりで見えにくかった星空が夜更けとともに月が沈み天の川が浮かびあがってくる光景はロマンがありますね。

残念ながら、ここ数十年の間に、日本では人工の明かりが増え、天の川が見えるような、星のよく見える場所が少なくなりました。ちなみに、旧暦の七夕の時期の方が星がきれいに見えます。今年の旧暦の7月7日は8月9日です。街明かりのない人工の光の影響ができるだけ少ない郊外へ行ってゆっくりと星空を眺めてはいかがでしょうか。



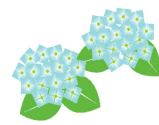
夏の川七夕まつり

【たなばたの由来】

七夕の物語は中国から伝わりました、今から2000年くらい前に物語ができていたそうです。日本では江戸時代に五節供の一つに定められ、今でも広く親しまれています。

七夕といえば、どこことなくロマンチックに感じますが、その由来を紐解いてみると、色々な文化が結びついています。七夕は、別名「星祭り」「笹の節供」と言われています。古くは中国では織姫にあやかり技芸の上達を願い、機織りが巧くなるように乞う祭り（奠）という意味の「乞巧奠（キッコウデン）」という行事が催されるようになりました。日本へは、奈良時代に「乞巧奠（キッコウデン）」が伝わると、貴族の間では庭先に祭壇を設け供物を備え、和歌を詠んだり、裁縫の上達を願ったり、星写しのような風流をたしなむようになり現在の七夕まつりのようなかたちになりました。京都の冷泉家では、今でも古式ゆかしい乞巧奠や歌会が執り行われています。

4月から6月の出来事



【4月の出来事】

- ベトナム人技術者2名入社。
- ホーチミン市技術師範大学 副学長をはじめ3名の教授が来社され卒業生と懇談されました。また立派な感謝楯を拝領いたしました。
- 計装設計業務の研修会を開催しました。
- 5S活動の一環として、四日市事業所では不用品で肥満児化していた工場内をスリムな体型にとり戻すべくダイエット活動（大掃除）を実施しました。陳腐化した産業廃棄物が出るは、出るは、おどろくほど出ました。

【5月の出来事】

- 四日市事業所 システムエンジニア1名入社。
- ベトナム人社員への特別研修を実施しました。
- 企業力強化社内研修会を開催しました。

【6月の出来事】

- 鈴鹿事業所業務部門パート社員1名入社。
- 創立記念日式典（21日）にて永年勤続者表彰しました。
5年勤続4名、10年勤続1名、15年勤続1名

編集後記

ISUZU REPORTは春夏秋冬の季刊誌ですが、創刊号からあっと言う間に3カ月たちました。

今回のトップ記事では、弊社とつながりの深いベトナムの「HCMUTE」との交流について取り上げてみました。

現在ホームページはリニューアルに向け準備中です。郵送でお届けしているISUZU REPORTをホームページ上からもご覧いただけるよう製作してまいります。